

温 泉 分 析 書 別 表

1	源 泉 名	函館夜景 温 泉 1号井
2	源 泉 所 在 地	北海道函館市桔梗町 435 番 712
3	温 泉 分 析 申 請 者	函館市石川町 241 番 1号 廣 正 鐵 機
4	泉 質	ナトリウム・カルシウム-塩化物泉 (中性低張性高温泉) (旧泉質名: 含塩化土類-食塩泉)
5	療養泉分類の泉質に基づく禁忌症、適応症等は次のとおりである。	
浴 用	禁 忌 症	急性疾患(特に熱のある場合)、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患 活動性の結核、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中(特に初期と末期)。
	適 応 症	神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、痔疾 慢性消化器病、慢性皮膚病、病後回復期、疲労回復、健康増進、虚弱児童、慢性婦人病 冷え症、きりきず、わけど。
飲 用	禁 忌 症	腎臓病、高血圧症、その他一般にむくみのあるもの。
	適 応 症	慢性消化器病、慢性便秘。
浴用、飲用の 一般的注意事項		
<p>1 入浴の方法及び注意</p> <p>(1) 熱い温泉に急に入ると、めまい等起こすことがあるので十分注意をすること。</p> <p>(2) 入浴時間は入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分位とし、なれるにしたがって延長してもよい。</p> <p>(3) 入浴中は運動席の場合は原則として、一般には安静を守ること。</p> <p>(4) 入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を守ること。</p> <p>(5) 高度の動脈硬化症、高血圧症及び心臓病の患者は原則として、高温浴(42℃以上)を禁忌とする。</p> <p>(6) 入浴後は身体に付着した温泉成分を水で洗い流さないのがよい。ただし、「湯ただれ」をこし暑い人は浴に浴後湯水で身体を洗うか、温泉成分をふき取るのがよい。</p> <p>(7) 食事の直前、直後の入浴は避けることが望ましい。</p> <p>(8) 飲酒しての入浴は特に注意すること。</p> <p>(9) その他</p> <p>2 飲用の方法及び注意</p> <p>(1) 飲用の1回量は一般に100mlないし200ml程度とし、その1日量はおおむね200mlないし1,000mlまでとする。</p> <p>(2) 一般には食事30分ないし1時間がよい。</p> <p>(3) 夕食後から就寝前の飲用はなるべく避けること。</p> <p>(4) その他</p> <p>◎ 温泉療養に際しては、医師の指導を受けることが望ましい</p>		
平成 6 年 3 月 31 日		
決定者 北海道保健環境部		